

松山櫨便り

第10号

購読
無料

1日・15日発行・櫨に関する情報求ム!

福岡県久留米市田主丸町で活動中!
編集・発行 松山櫨復活委員会
幹事・矢野真由美

耳納山の片隅で失われてしまった櫨紅葉の景観を復活させることを目的に、櫨の素人がまったりとその様子を伝えていく会報です。

ブログ公開中「松山櫨復活奮闘日記」 <http://blog.goo.ne.jp/elster/>
連絡先 e-mail : elster@mail.goo.ne.jp ホームページ「松山櫨復活委員会」 近日公開予定

前号までのあらすじ

江戸時代に田主丸町森部で発見された櫨の優秀な品種「松山櫨」。一ヶ所だけ残っていた松山

櫨を復活させるために、接ぎ木をするこになり、そのためには、松山櫨の接ぎ穂をくつつける台木苗が必要になりました。

松山櫨の接ぎ木用台木探し

南京櫨は櫨なのか?

櫨の台木がない

松山櫨の接ぎ木のためには、台木となるための苗が必要です。しかし今時、普通の植木屋さんには櫨苗など置いていません。そこで、うきは市在住の現役櫨農家の方に問い合わせしてみました。すると今年は天候不順のため、台木があまり育たず、接ぎ木を仕立てられる程十分にならないの返事でした。

私は台木が足りないとか思ってもいけません。種を蒔いて台木ができるのに早くても一年かかります。それから接ぎ木して、松山櫨苗として出荷するまで一年育てます。結局、現地に植えるまでどうしても二年以上の歳月が必要です。台木用の苗はどうやって手に

南京櫨はどう?

入れたらいいのか、いろいろ考えてみました。台木は櫨の種類なら何でもいそうですから、要はなんらかの櫨の仲間を探せばいいのです。

櫨の仲間と聞いて、ピンと思いつきました。南京櫨(ナンキンハゼ)です。南京櫨は蟬は全然とれませんが、櫨の木のように紅葉が美しく、かぶれないことから街路樹や庭園などに人気の品種です。この南京櫨なら、きっと市場にたくさん出回っているに違いありません。さっそく森林林業技術センターの篠原さんに問い合わせしてみると「南京櫨と櫨は名前は似てるけど違います。たぶん接ぎ木は無

理だと思えます。」
南京櫨はトウダイクサ科シラキ属。一方櫨は、ウルシ科ウルシ属で全くの別物でした。
私は櫨の苗木を探すのは、いったんあきらめて、遠回りですが台木作りから始めることを決心しました。そうになると、問題は台木作りです。やはり植木畑できちんと職人さんに育ててもらった方が確実です。
その時、なんと田主丸町に数年前まで櫨苗を作っていた農家があるとの情報を聞きました。
続きは次号にて



松山櫨

ウルシ科ウルシ属

名前は似てるけど...



南京櫨

トウダイクサ科シラキ属

※本会報を許可なく複製・転載すること、または部分的にもコピーすることを禁じます。